



平成30年9月7日

港湾災害専門家による苫小牧港被災施設の現地調査実施

～国際コンテナターミナル等被災施設の早期復旧に向けた技術支援を要請～

平成30年北海道胆振東部地震により液状化による被災を受けた国際コンテナターミナルをはじめとする苫小牧港港湾施設の被害箇所の早期復旧に向けて、高度な技術的判断に基づく助言を受けるため、国土技術政策総合研究所、（国研）海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所及び（国研）土木研究所寒地土木研究所に対して、現地調査実施時における港湾災害専門家の派遣を要請しました。

日 時：平成30年9月7日（金）14：00開始予定

調査箇所：苫小牧港東港区国際コンテナターミナルなど苫小牧港東港区の被災箇所
（別紙1参照）

調査体制：＜港湾災害専門家＞

- ・国土交通省 国土技術政策総合研究所
- ・国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所
- ・国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所

＜施設保有・管理者＞

- ・苫小牧港管理組合
- ・国土交通省 北海道開発局

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

港湾空港部 空港・防災課 港湾保安管理官 齊藤敦志（内線 5622）

港湾空港部 港湾建設課 課長補佐 田川人士（内線 5625）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



